

英語科 3年生

目標の生徒像

- ① 多様な内容に関して、自然な口調で話される英語で、場面や状況に応じて相手や自分の伝えたいことを聞いたり話したりできる。
- ② 教科書や社会の様々な話題、自分自身についての考えや意見を持ち、それらを英語で話し、文章で表現できる力をもっている。
- ③ 話し方、書き方、覚え方等辞書の利用法を含めて、英語を主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
- ④ 日本人としての文化・教養を英語学習を通して身につけている。
- ⑤ 入試問題を解くパズルとして英語に取り組むのではなく、生涯の中で自分が国籍や人種を問わず関わる人々や情報に接して、自分と周囲の人のために使う大切な手段として身につける心が育っている。

年間計画

単元タイトル	学習内容
L1 My Favorite Words	受け身形(復習) ことばの持つ力
L2 Finland-Living with Forests	現在完了形(継続用法) 自分とは違う自然環境
L3 Rakugo Goes Overseas	現在完了形(経験用法・完了用法) 日本の伝統文化の発信
L4 The Story of Sadako	第5文型(SVOC)、It is～for A to… 広島原爆
LR1 Learning from Nature	自然科学
L5 Houses and Lives	関係代名詞(主格・目的格) 世界の家と生活文化
L6 I Have a Dream	後置修飾(現在分詞・過去分詞・接触節) アメリカの公民権運動
L7 We Can Change Our World	want 人 to～、間接疑問 創意工夫や社会貢献
L8 English for Me	how to～ 英語を学ぶことの意義
LD2 A Moment of Peace	平和

* 単元によってスピーチや暗唱、対話、聞き取り、英作活動なども行います。

教科の先生からのアドバイス

授業の受け方

◎忘れ物をしないようにしましょう

「ノート」「教科書」「ワーク」、どれを忘れても授業で十分に学習することができません。宿題も含めて忘れ物はなくしましょう。

◎積極的に声を出そう

英語の時間にはたくさん英語を話したり繰り返して読む練習をしたりする時間があります。恥ずかしくて小さな声でボソボソと声を出すのではなく、間違ってもいいから大きな声で元気よく英語を話すことで、体全体で英語を覚えましょう。

◎しっかりと話を聞き、自分のノートにまとめよう

黒板に書かれたことノートに書くだけではなく、自分が大切だと思うところや覚えにくいなあと感じるところはメモをしたり線を引いたりするなど、工夫をしてノートをまとめましょう。そのためには先生の話もしっかりと聞くことが大切です。

家庭学習の仕方

授業に入る前に予習をして、本文をノートに写したり単語の意味を調べておきましょう。授業が終わった後は、学習した内容を復習したり単語の練習をするなど、毎日英語に触れるようにしましょう。

評価について

評価の観点	評価の内容
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業の活動、小テスト、課題への積極的な参加、ノート・ワークブック等の提出物、忘れ物の有無など
②表現の能力	小テスト、定期テスト 会話テスト、ライティングテストなど
③理解の能力	小テスト、定期テスト リスニングテスト、読解等の課題など
④言語や文化についての知識・理解	小テスト、定期テストなど

その他

・辞書を引いて調べる習慣をつけましょう。

語学学習に辞書は欠かせません。意味のわからない単語、知らない単語を目にした時にはすぐ辞書を引く習慣をつけましょう。単語の読み方が書いてあります。意味もよく使う順に詳しく説明されています。調べたい箇所をさっと見つけることも、狭い画面の電子辞書より便利です。もし辞書をまだ持っていなければ自分が見やすいもの、使いやすいものを書店で選び、購入しましょう。

英語科 2年生

目標の生徒像

- ① 周りの人の意見や考え、文章を英語で聞いたり読んで、正確に理解できる力を持っている。
- ② わからない部分を推察したり、伝えるために工夫をしたりするなど、コミュニケーションへの積極的な意欲、態度をもつ。
- ③ 異文化及び自国の文化の理解を深め、自他の違いを認め受け入れることができる。
- ④ ある程度の長さの物語や会話文を読み、内容を推察しながら概ね理解することができる。
- ⑤ アクセントや英語独特の発音の仕方を意識し、教科書などのまとまった物語や会話文などを正しい発音で読むことができる。

年間計画

単元タイトル	学習内容
L1 Aloha	一般動詞の過去形 ハワイの伝統文化
L2 A Calendar of the Earth	be 動詞の過去形、接続詞 when、過去進行形 地球の歴史
L3 For Our Future	未来を表す表現 will, be going to 接続詞 that 地球環境の未来
L4 Enjoy Sush	there is(are)～、動名詞 日本の地域と食文化
LR1 A Pot of Poison	ドラマ
L5 My Dream	不定詞(名詞、形容詞、副詞用法) 自分の将来像
L6 Uluru	第4文型(SVOO) 第2文型(SVC)の C が一般動詞の時 旅の楽しさ、地域の文化
L7 Good Presentations	比較(原級、比較級、最上級) さまざまな視覚的表現
L8 India, My Country	受け身形 多言語の国インド
LD2 Landmines and Aki Ra	平和

* 単元によってスピーチや暗唱、対話、聞き取り、英作活動なども行います。

教科の先生からのアドバイス

授業の受け方

◎忘れ物をしないようにしましょう

「ノート」「教科書」「ワーク」、どれを忘れても授業で十分に学習することができません。宿題も含めて忘れ物はなくしましょう。

◎積極的に声を出そう

英語の時間にはたくさん英語を話したり繰り返して読む練習をしたりする時間があります。恥ずかしくて小さな声でボソボソと声を出すのではなく、間違ってもいいから大きな声で元気よく英語を話すことで、体全体で英語を覚えましょう。

◎しっかりと話を聞き、自分のノートにまとめよう

黒板に書かれたことノートに書くだけではなく、自分が大切だと思うところや覚えにくいなあと感じるところはメモをしたり線を引いたりするなど、工夫をしてノートをまとめましょう。そのためには先生の話もしっかりと聞くことが大切です。

家庭学習の仕方

授業に入る前に予習をして、本文をノートに写したり単語の意味を調べておきましょう。授業が終わった後は、学習した内容を復習したり単語の練習をするなど、毎日英語に触れるようにしましょう。

評価について

評価の観点	評価の内容
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業の活動、小テスト、課題への積極的な参加、ノート・ワークブック等の提出物、忘れ物の有無など
②表現の能力	小テスト、定期テスト 会話テスト、ライティングテストなど
③理解の能力	小テスト、定期テスト リスニングテスト、読解等の課題など
④言語や文化についての知識・理解	小テスト、定期テストなど

その他

・辞書を引いて調べる習慣をつけましょう。

語学学習に辞書は欠かせません。意味のわからない単語、知らない単語を目にした時にはすぐ辞書を引く習慣をつけましょう。単語の読み方が書いてあります。意味もよく使う順に詳しく説明されています。調べたい箇所をさっと見つけることも、狭い画面の電子辞書より便利です。もし辞書をまだ持っていなければ自分が見やすいもの、使いやすいものを書店で選び、購入しましょう。

英語科 1年生

目標の生徒像

- ①自身の思いや出来事を、簡単な会話や文章で相手に伝えることができる。また伝えようという意欲を持つ。
- ②周りの人の意見や考えを英語で聞き取り、自らも簡単な英語で伝えることができる。
- ③さまざまな国の文化や生活の違いなどを知り、世界に関心を持つ。また自分の国の文化や習慣について理解を深める。
- ④ある程度の長さの物語や会話文を読み、内容を理解することができる。
- ⑤アクセントや英語独特の発音の仕方を意識し、教科書などのまとまった物語や会話文などを読むことができる。

年間計画

単元タイトル	学習内容
Alphabet	アルファベット、ローマ字 辞書の使い方
L1 I am Tanaka Kumi	be 動詞(am,are) あいさつ、自己紹介
L2 My School	be 動詞、疑問詞 what、三人称(he,she) 学校案内
L3 I Like Kendama	一般動詞 好きなこと
L4 Field Trip	複数形、数のたずね方(how many~?)、命令文 校外学習
L5 Our New Friend from India	疑問詞(who,where,when) 代名詞(him,her) 新しいクラスメイト
L6 My Family in the UK	三人称単数現在 イギリスの文化
LR1 Alice and Humpty Dumpty	文学
L7 Wheelchair Basketball	助動詞 can いろいろなスポーツ
L8 School Life in the USA	現在進行形 外国の中学校生活
L9 Four Seasons in Japan	一般動詞の過去形 日本の身近な年中行事
LR2 A Girl Saved Many Lives	安全

* 単元によってスピーチや暗唱、対話、聞き取り、英作活動なども行います。

教科の先生からのアドバイス

授業の受け方

◎忘れ物をしないようにしましょう

「ノート」「教科書」「ワーク」、どれを忘れても授業で十分に学習することができません。宿題も含めて忘れ物はなくしましょう。

◎積極的に声を出そう

英語の時間にはたくさん英語を話したり繰り返して読む練習をしたりする時間があります。恥ずかしくて小さな声でボソボソと声を出すのではなく、間違ってもいいから大きな声で元気よく英語を話すことで、体全体で英語を覚えましょう。

◎しっかりと話を聞き、自分のノートにまとめよう

黒板に書かれたことノートに書くだけではなく、自分が大切だと思うところや覚えにくいなあと感じるところはメモをしたり線を引いたりするなど、工夫をしてノートをまとめましょう。そのためには先生の話もしっかりと聞くことが大切です。

家庭学習の仕方

授業に入る前に予習をして、本文をノートに写したり単語の意味を調べておきましょう。授業が終わった後は、学習した内容を復習したり単語の練習をするなど、毎日英語に触れるようにしましょう。

評価について

評価の観点	評価の内容
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業の活動、小テスト、課題への積極的な参加、ノート・ワークブック等の提出物、忘れ物の有無など
②表現の能力	小テスト、定期テスト 会話テスト、ライティングテストなど
③理解の能力	小テスト、定期テスト リスニングテスト、読解等の課題など
④言語や文化についての知識・理解	小テスト、定期テストなど

その他

・辞書を引いて調べる習慣をつけましょう。

語学学習に辞書は欠かせません。意味のわからない単語、知らない単語を目にした時にはすぐ辞書を引く習慣をつけましょう。単語の読み方が書いてあります。意味もよく使う順に詳しく説明されています。調べたい箇所をさっと見つけることも、狭い画面の電子辞書より便利です。もし辞書をまだ持っていなければ自分が見やすいもの、使いやすいものを書店で選び、購入しましょう。